

第4章 教育内容・方法・成果

(1) 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針 【大谷大学短期大学部】

本学は、点検・評価項目のもとに独自の評価の視点を定め、点検・評価を行った。その評価の視点を小見出しにして本章(1)の評価項目(1)を記述する。

1、現状の説明

(1)教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。

【短期大学全体】

(教育目標の明示)

第1章で述べた建学の理念・目的のもとに教育目標(人物育成上の目的)を下記のとおり定め、『大谷大学要覧』及び本学HP「教育研究を始めとする各種方針」において明示している(資料4(1)-1『大谷大学要覧 2014.4-2015.3』p.4、資料4(1)-2 本学HP「教育研究を始めとする各種方針」)。

【教育目標(人物育成上の目的)】

短期大学部は、仏教精神にもとづいて、職業または实际生活に必要な能力を身につけるために専門教育を施す。それによって、社会を主体的に生き、相互に敬愛しあう社会の実現にむけて貢献することのできる人物を育成する。

(教育目標に基づいた学位授与方針の明示)

この教育目標に基づいて、学位授与方針を次のとおり定め、『大谷大学要覧』、及び本学HP「教育研究を始めとする各種方針」において明示している(資料4(1)-1 p.4、資料4(1)-2)。

【学位授与方針(ディプロマ・ポリシー DP)】

短期大学部は、卒業時に学生が身につけるべき6つの能力(教育研究上の目的)を各学科において定め、これらの能力を身につけることを到達目標とするカリキュラムを編成する。本学は、所定の期間在学し、所定単位の修得をもって教育目標を達成したものとみなし、短期大学士の学位を授与する。

2013年、上記の短期大学全体の教育目標(人物育成上の目的)及び学位授与方針に加え、各学科の教育目標(人物育成上の目的)、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針の見直しを行い、大学運営会議にて決定し、2014年1月教授会にて報告した。

なお、本学は理念・使命に基づく、2012年度から2021年度までの10年間のビジョン・目的及び行動計画「グランドデザイン」策定の中で「教育に関する方針」を定めて公表しており、これをも踏まえてポリシーの見直しを行った(資料4(1)-3「グランドデザイン【2012年度-2021年度】」)。

【仏教科】

(教育目標の明示)

本学科は学則の定める目的により、教育目標を下記のとおり定め、『大谷大学要覧』、『履修要項』及び本学HP「教育研究を始めとする各種方針」に明示している(資料4(1)-1 p.4、資料4(1)-4『履修要項』p.14、資料4(1)-2)。

【教育目標(人物育成上の目的)】

仏教科は、人間の本来のあり方を問い続けたブッダと親鸞の思想を学ぶことを通して、自分自身への理解を深め、他者との関わりを尊重できる自立した人物を育成する。

第4章 教育内容・方法・成果

(1) 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針 【大谷大学短期大学部】

(教育目標に基づいた学位授与方針の明示)

この教育目標に基づいて、学位授与方針を次のとおり定めて、『大谷大学要覧』、『履修要項』及び本学 HP「教育研究を始めとする各種方針」に明示している（資料 4(1)-1 p.4、資料 4(1)-4 p.14、資料 4(1)-2）。

【学位授与方針（ディプロマ・ポリシー DP）】

仏教科は、卒業時に学生が身につけるべき下記の 6 つの能力（教育研究上の目的）を定め、これらの能力を身につけることを到達目標とするカリキュラムを編成する。本学は、所定の期間在学し、所定単位の修得をもって教育目標を達成したものとみなし、短期大学士の学位を授与する。

卒業時に身につけておくべき能力（教育研究上の目的）

- (DP1) 日本語または外国語を使用して、正確に読解し、表現や議論ができる。〔技能・表現〕
- (DP2) 専門領域において必要とされる知識・技術を身につけている。〔知識・技術〕
- (DP3) 人間と社会について、幅広い知識・知見を身につけている。〔知識・理解〕
- (DP4) 人間と社会に関して問題を見だし、課題を設定しようとする意欲をもつ。〔関心・意欲〕
- (DP5) 専門領域における幅広い知識を用いて、人間と社会の諸相を分析することができる。〔思考・判断〕
- (DP6) 自己と他者への理解を深めながら、主体的にさまざまな問題解決に取り組むことができる。〔態度〕

学位授与要件（卒業要件）は、学則第 22 条のとおり、卒業に必要とする単位数が 62 単位であり、うち共通科目が 4 又は 6 単位、学科科目が 56 又は 52 単位、自由科目が 2 又は 4 単位となっている（資料 4(1)-5 『学生生活サポートブック 2014』 p.101）。なお卒業研究の提出を必須としている（資料 4(1)-4 pp.23-24）。また、授与する学位名称は、「大谷大学短期大学部学位規程」第 2 条のとおり、「短期大学士（仏教）」である（資料 4(1)-4 p.58）。

【幼児教育保育科】

(教育目標の明示)

本学科は学則の定める目的により、教育目標を下記のとおり定め、『大谷大学要覧』、『履修要項』、及び本学 HP「教育研究を始めとする各種方針」に明示している（資料 4(1)-1 p.4、資料 4(1)-4 p.15、資料 4(1)-2）。

【教育目標（人物育成上の目的）】

幼児教育保育科は、仏教の精神に立って、一人一人の人間を尊重し、あらゆることに意味を見出して、育つものと育てるものとが共に生き共に育つことを基本として、幼児教育・保育に携わることのできる人物を育成する。

(教育目標に基づいた学位授与方針の明示)

この教育目標に基づいて、学位授与方針を次のとおり定めて、『大谷大学要覧』、『履修要項』、及び本学 HP「教育研究を始めとする各種方針」に明示している（資料 4(1)-1 p.4、

第4章 教育内容・方法・成果

(1) 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針 【大谷大学短期大学部】

資料 4(1)-4 p.15、資料 4(1)-2)。

【学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー DP)】

幼児教育保育科は、卒業時に学生が身につけるべき下記の6つの能力（教育研究上の目的）を定め、これらの能力を身につけることを到達目標とするカリキュラムを編成する。本学は、所定の期間在学し、所定単位の修得をもって教育目標を達成したものとみなし、短期大学士の学位を授与する。

卒業時に身につけておくべき能力（教育研究上の目的）

- (DP1) 日本語または外国語を使用して、正確に読解し、表現や議論ができる。〔技能・表現〕
- (DP2) 教育・保育において必要とされる技術・技能を身につけている。〔技能・表現〕
- (DP3) 教育・保育に関して、幅広い知識・知見を身につけている。〔知識・理解〕
- (DP4) 教育・保育に関して問題を見だし、課題を設定しようとする意欲をもつ。〔関心・意欲〕
- (DP5) 教育・保育における幅広い知識を用いて、人間と社会の諸相を分析することができる。〔思考・判断〕
- (DP6) 自己と他者への理解を深めながら、主体的にさまざまな問題解決に取り組むことができる。〔態度〕

学位授与要件（卒業要件）は、学則第22条のとおり、卒業に必要とする単位数が62単位であり、うち共通科目が6単位、学科科目が50単位、自由科目が6単位となっている（資料 4(1)-5 p.101）。なお卒業研究の提出を必須としている（資料 4(1)-4 p.25）。また、授与する学位名称は、「大谷大学短期大学部学位規程」第2条のとおり、「短期大学士（幼児教育保育学）」である（資料 4(1)-4 p.58）。

(2)教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。

【短期大学全体】

本学では、(1) で記載した教育目標及び学位授与方針に基づいて、学科ごとに次のとおり教育課程の編成・実施方針を定めている。教育課程の編成・実施方針は、学位授与方針と連関させて作成しており、整合性を保つようになっている。なお、教育課程の編成・実施方針は、『履修要項』及び本学 HP「教育研究を始めとする各種方針」に明示している（資料 4(1)-4 pp.14-15、資料 4(1)-2）。

【仏教科】

仏教科における教育課程の編成・実施方針は、教育目標及び学位授与方針に基づいて、下記のとおり定め、『履修要項』及び本学 HP「教育研究を始めとする各種方針」に明示している（資料 4(1)-4 p.14、資料 4(1)-2）。

【教育課程の編成・実施方針 (カリキュラム・ポリシー)】

仏教科では、「学位授与方針」に定められた6つの能力を身につけるために、下記の図表に示された教育課程をもうけ、各科目群のねらいに応じて重点箇所を◎および○で示す。（◎：特に重点を置いている、○：重点を置いている）教育課程は、各授業科目を必修科

第4章 教育内容・方法・成果

(1) 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
【大谷大学短期大学部】

目、選択科目および自由科目に分け、これを各年次に配当し、講義、演習等適切な方法により実施する。

科目群		履修 単位	学年 配当	(DP1)	(DP2)	(DP3)	(DP4)	(DP5)	(DP6)	各科目群のねらい
共通科目	仏教と人間	2	1			○	○		◎	仏教思想を通じて、「人間」とは何かを考え、自己を見つめ、他者と共に生きる社会への問題意識を養う。
	学びの発見	2	1	◎			○		○	これまでの「学習」から、大学での主体的な「学修」への転換とともに、専門的な「学修」への接続を図る。
	英語	2	1	◎						英語の基礎力をさらに高めるとともに、文化の多様性に触れる。
学科科目	講義	-	1~2		○	◎		○		ブッダおよび親鸞の生涯と思想に関する基礎的知識を身につけ、人間と現代社会の課題を考察する視点を学ぶ。
	演習	-	1~2	◎			◎	○	○	ブッダの言葉および親鸞の著述の読解と考察を通じて、人間と現代社会の状況をふまえて議論を深め、思考、表現の方法を修得する。
	実技	-	1~2		◎					仏教の儀式において必要とされる技能の基礎を身につけ、その能力の向上を図る。
	卒業研究	4	2	◎		○	◎	◎	◎	仏教科での学びを通じて身につけた能力を総合的に駆使して、自己の課題に取り組み、主体的な生き方を探究し、表現する。
自由科目	2~4	1~2	-	-	-	-	-	-	-	歴史、文化、芸術、自然科学、キャリア形成など、さまざまな科目から自由に選択し、幅広い知識や教養を身につける。

【幼児教育保育科】

幼児教育保育科における教育課程の編成・実施方針は、教育目標及び学位授与方針に基づいて、下記のとおり定め、『履修要項』及び本学 HP「教育研究を始めとする各種方針」に明示している（資料 4(1)-4 p.15、資料 4(1)-2）。

【教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）】

幼児教育保育科では、「学位授与方針」に定められた 6 つの能力を身につけるために、下記の図表に示された教育課程をもうけ、各科目群のねらいに応じて重点箇所を◎および○で示す。（◎：特に重点を置いている、○：重点を置いている）教育課程は、各授業科目を必修科目、選択科目および自由科目に分け、これを各年次に配当し、講義、演習等適切な方法により実施する。

第4章 教育内容・方法・成果

(1) 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
【大谷大学短期大学部】

科目群		履修 単位	学年 配当	(DP1)	(DP2)	(DP3)	(DP4)	(DP5)	(DP6)	各科目群のねらい
共通科目	仏教と人間	2	1			○	○		◎	仏教思想を通じて、「人間」とは何かを考え、自己を見つめ、他者と共に生きる社会への問題意識を養う。
	学びの発見	2	1	◎			○		○	これまでの「学習」から、大学での主体的な「学修」への転換とともに、専門的な「学修」への接続を図る。
	英語	2	1	◎						英語の基礎力をさらに高めるとともに、文化の多様性に触れる。
学科科目	講義	-	1~2			◎		○		教育・保育に関する基本的知識を身につけ、考察する能力を高める。
	演習	-	1~2	◎			◎	○	○	教育・保育に関わる様々な課題を考察し、専門的知識を深めるとともに思考、表現の方法を修得する。
	実技	-	1~2		◎					教育・保育に関する技術・技能の基礎を身につけ、その能力の向上を図る。
	卒業研究	4	2	◎		○	◎	◎	◎	幼児教育保育科での学びを通じて身につけた能力を総合的に駆使して、自分の課題に取り組み、探究する。
自由科目	6	1~2	-	-	-	-	-	-	-	歴史、文化、芸術、自然科学、キャリア形成など、さまざまな科目から自由に選択し、幅広い知識や教養を身につける。

(3)教育目標、学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を短期大学構成員（教職員及び学生等）に周知し、社会に公表しているか。

【短期大学全体】【仏教科】

教職員に対する情報共有の学内手続きは、まず教授会において報告し、同内容を教授会後に開催する事務職員の部課長会議にて報告、その後各部・課において全職員に連絡することとなっている。

(1)及び(2)に記載したように、教育目標、学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針は、『履修要項』や本学HP「教育研究を始めとする各種方針」において学内周知はもとより、学外に公表している。教育目標と学位授与方針は『大谷大学要覧』にも明示している（資料4(1)-4 pp.14-15、資料4(1)-2、資料4(1)-1 p.4）。なお、『大谷大学要覧』は、教職員等への配布以外に、大学説明会、オープンキャンパス、教育実習等の実習先、同窓会各支部、就職関係企業等へ配布している。また、毎年度初めのオリエンテーション期間には、ガイダンスを各学年別に設けており、特に新入学生（第1学年）については、2年間の全体像をふまえた教育課程の編成・実施方針にかかる説明を行っている。

【幼児教育保育科】

幼児教育保育科では、上記記載内容に加えて、保育実習及び教育実習の協力園・施設との懇談会を年1回開催し、保育・教育現場に対して学科の教育目標や教育課程について周知している。

(4)教育目標、学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。

【短期大学全体】【仏教科】【幼児教育保育科】

第4章 教育内容・方法・成果

(1) 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針 【大谷大学短期大学部】

検証に関しては、従来、教務委員会がその任を負ってきた。教務委員会の目的は、本学の基本理念によるカリキュラムの大綱、並びにそれに基づく運用計画の策定、及びFD（ファカルティ・ディベロップメント）活動を推進し、教育の充実と発展を図ることにある。教務委員会の下部組織として教務部会とFD部会を置き、そのうちカリキュラムに関する事項を教務部会が、また教育内容・方法の改善に関する事項をFD部会が、それぞれ審議・推進してきた。2013年度からは教育活動について継続的に検証及び提言を行う「教育推進室」を設置し、毎年検証を行うこととなった。教育・学生支援担当副学長を室長とする教育推進室では、次の業務を行うことを「教育推進室規程」第3条第1号及び第2号に明記している（資料4(1)-6「教育推進室規程」）。

(1) 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の検証及び改善

(2) 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）の検証及び改善

検証・改善の手続きは次のとおりである。すなわち、検証作業として、教務部会と必要に応じて各学科の意見を聴取する。あわせて「学生による授業評価アンケート」、「学生満足度調査アンケート」、GPA等のデータ分析によって検証を行う。検証の結果、方針を改正する場合は原案を教育推進室が作成し、①大学運営会議に報告したうえで、②学科主任会議③協議員会で意見聴取し、教育推進室で原案の修正を行い、④大学運営会議で決定することとなる。決定事項は⑤教授会において教育職員全体への報告・周知を図り、その後事務局に報告する手順となる（資料4(1)-7「学位授与方針、教育課程の編成・実施方針の適切性の検証手続」）。なお、以上の検証作業は、年1回行うこととし、2014年3月14日に教育推進室会議を開催した（資料4(1)-8「教育推進室会議議事録」）。

2、点検・評価

●基準4(1)の充足状況

本学の理念・目的を実現するために、教育目標を定め、それに基づき学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を明示し、種々の手段により短期大学構成員（教職員及び学生）に周知し、社会に公表している。以上により、本学はおおむね同基準を充足している。

①効果が上がっている事項

（学位授与方針、教育課程の編成・実施方針について）

学科ごとの教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針を定めたことによって、学科における教育について、学生はもとより教職員に共通理解が得られたことは、教育上裨益するところ多大である。また、大学の社会的な説明責任の観点からも、改訂したポリシーの公表は、実あるものと評価し得る。

②改善すべき事項

（各学科の教育課程の編成・実施方針について）

2013年に各学科の教育課程の編成・実施方針を大幅に見直し、具体的で理解しやすいものに改訂したが、「共通科目」「学科科目」「自由科目」の大きな3つの科目群のねらいについての説明が不十分であることが判明し、改善の必要が生じている。

第4章 教育内容・方法・成果

(1) 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針 【大谷大学短期大学部】

3、将来に向けた発展方策

①効果が上がっている事項

(学位授与方針、教育課程の編成・実施方針について)

学位授与方針、教育課程の編成・実施方針が定まったことで、それぞれ担当する教員間で教育方針等を検討し、自らの授業計画・実践に活かすとともに、実際の教育実践を経て、学科教育の総合的な発展のために定期的に点検・評価していく。

②改善すべき事項

(各学科の教育課程の編成・実施方針について)

各学科の教育課程の編成・実施方針については、教育推進室において3つの科目群のねらいを盛り込むよう文言を見直し、2014年度中に改訂する予定である。

4、根拠資料

資料 4(1)-1 『大谷大学要覧 2014.4-2015.3』(既出 (1-14))

資料 4(1)-2 本学 HP 「教育研究を始めとする各種方針」(既出 (3-1))

<http://www.otani.ac.jp/annai/nab3mq000003cn7u.html>

資料 4(1)-3 「グランドデザイン 【2012年度-2021年度】」(既出 (1-4))

資料 4(1)-4 『履修要項 2014』

資料 4(1)-5 『学生生活サポートブック 2014』

資料 4(1)-6 「教育推進室規程」(既出 (3-3))

資料 4(1)-7 「学位授与方針、教育課程の編成・実施方針の適切性の検証手続」

資料 4(1)-8 「教育推進室会議議事録」